

対象年度		令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		読書活動奨励推進事業						予算事業名		読書活動奨励推進事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
				10	01	03	08	経常経費							
総合計画体系		未来を担う子どもと 生き生きとした市民を育む地域を目指そう						事業の区分		主要事業					
		地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくり								重点事業					
		学校教育の実践						担当課係等		学校教育課					
						指導課									
事業期間		継続 (平成25年度～ 年度)													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
児童生徒の豊かな情操を培い、語彙力や表現力を育てるために、市内の各学校で読書活動に積極的に取り組んでいる児童生徒に対して「市長賞」を授与し奨励する。								国における「読書推進事業計画策定」や県の「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」を受け、読書活動の奨励事業を加速した。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
読者活動推奨のため、読書をした小学4年生以上の児童生徒（小学生100冊、中学生50冊）へ地場産業である桐板賞状を贈呈する。								小中学校児童生徒							
								【事業をとりまく環境の変化】							
								小学校に比べて中学校の読書冊数が少ないが、量より質への転換が図られている状況がみられる。							
【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】							
・市長賞の贈呈（小学生100冊、中学生50冊） ・読み聞かせの実施、並行読書の奨励				・市長賞の贈呈（小学生100冊、中学生50冊） ・読み聞かせの実施、並行読書の奨励				・市長賞の贈呈（小学生100冊、中学生50冊） ・読み聞かせの実施、並行読書の奨励							
■事業費															
				R05年度		R06年度									
財源内訳	国庫支出金			0		0									
	県支出金			0		0									
	地方債			0		0									
	その他			0		0									
	一般財源			408		444									
歳入計（千円）				408		444									
歳出内訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）									
	07 報償費			408		444									
歳出計（千円）（A）				408		444									
伸び率（％）						8.82									
備考	総合計画 98 ページ 予算書 173 ページ														

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	読書奨励実施校	校	目標	12.00	12.00	12.00
	読書を奨励し、児童生徒の情操教育及び読書力の向上を図る。		実績	12.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	読書奨励賞：市長賞受賞者率	率	目標	35.00	35.00	35.00
	小学校100冊		実績	31.20	0.00	0.00
	読書奨励賞：市長賞受賞者率	率	目標	10.00	10.00	10.00
	中学生50冊		実績	9.70	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	県の施策とも合致しており、必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	必要な予算の確保をしており、妥当である。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	授与している桐板について、検討が必要である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	授与している桐板の値段が高騰していること、板に児童生徒の名前を書く作業に時間がかかることから、検討が必要である。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市内小中学校児童生徒を対象としているため、偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	適正に実施されている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	適正に実施されている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
市長賞として授与している桐板の値段が高騰してきている。各校で桐板に名前を書く作業が負担である。この2点について、検討の必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
授与するものについて、本市の特産物を活用したもので、名前を書く等の作業がないものがないか、検討していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 市長賞は、読書活動の奨励につながっているため、継続していきたい。ただ、授与する物についての検討が必要である。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	